

3月のてがたんは中止になりました。下見の観察結果のレポートを作成しましたのでご覧ください。次回4月の「てがたん」は「桜と春の花」がテーマで、4月9日(土)を予定しています。ご都合のつく方は、ぜひご参加ください。

\*市民スタッフの方へ 次回のてがたん下見&打ち合わせは4月2日(土)を予定しています。よろしくお願いいたします。

### 3月の下見コースと内容

- コース：鳥の博物館→ふれあい道路沿い水田→手賀沼遊歩道→鳥の博物館
- 下見日時/天気 2011年3月5日(土) 10:00~12:00 / 晴れ
- 市民スタッフ 11名 (大屋貴義、加藤文雄、蒲田知子、玄地昭八、須貝基康、仁科淳弘、弘實さと子、古川克彌、松村定雄、保田行弘、湯瀬一栄)
- 鳥博職員 2名 (斉藤安行、村松和行)

### 観察記録 - 3月下見に観察した生き物リスト-

#### 【鳥類】

カイツブリ科：カイツブリ、カンムリカイツブリ / ウ科：カワウ / サギ科：コサギ、アオサギ / カモ科：カルガモ、コガモ、 / クイナ科：バン、オオバン / シギ科：タシギ / カモメ科：ユリカモメ / カワセミ科：カワセミ / セキレイ科：ハクセキレイ、セグロセキレイ / ヒヨドリ科：ヒヨドリ / モズ科：モズ / ツグミ科：ツグミ / シジュウカラ科：シジュウカラ / ホオジロ科：アオジ / アトリ科：カワラヒワ / ハタオリドリ科：スズメ / ムクドリ科：ムクドリ / カラス科：ハシボソガラス、ハシブトガラス / 外来種や家禽：コブハクチョウ

#### 【昆虫・クモ】

カマキリの仲間：オオカマキリ (卵のう)、ハラビロカマキリ (卵のう)

#### 【花】

キク科：セイヨウタンポポ、ノボロギク / シソ科：ホトケノザ、ヒメオドリコソウ、ラベンダー (植栽) / ゴマノハグサ科：オオイヌノフグリ、ムラサキサギゴケ / アブラナ科：ナズナ、ミチタネツケバナ、タネツケバナ / ナデシコ科：オランダミミナグサ / イネ科：スズメノカタビラ / ミズキ科：サンシュユ (植栽) / ジンチョウゲ科：ミツマタ (植栽)

# 3月の観察アルバム



今回のてがたんのテーマは「春を探そう」でした。下見ではツクシを中心に早春の植物を観察しました。毎年開花が早いオオイヌノフグリやヒメオドリコソウ、タネツケバナなどが多く見られました。庭木や街路樹の花芽もだいふ膨らみ、サンシュユの鮮やかな花が咲いていました。

田んぼでは数羽のタシギがみられ、長い嘴を泥に入れて餌を探す姿が観察されました。



ツクシはスギナの胞子体でツクシの後にスギナが出る



水田の周りにはタネツケバナの花 (アブラナ科)



唇のようなヒメオドリコソウの花 (シソ科)



タムシバの花芽は毛がない (モクレン科)

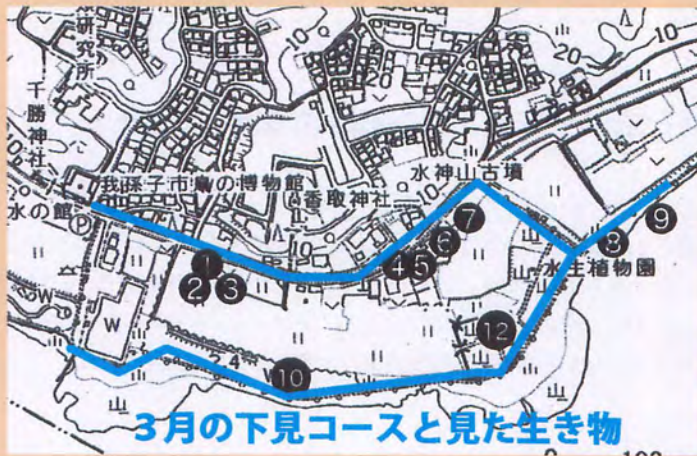


コブシの花芽は毛がある (モクレン科)



スギナの胞子

青白い粉のようにみえるのが、スギナの胞子です。一本のツクシに約200万個の胞子があります。スギナの仲間にはシダ植物約3億年前から存在し、「生きた化石」とも呼ばれています。

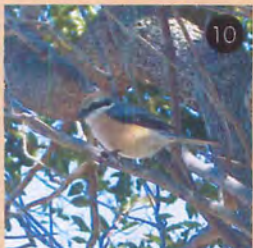


3月の下見コースと見た生き物



スギナの胞子の拡大写真

胞子には弾糸と呼ばれる糸状の器官がついています。弾糸は湿度が高いと縮み、胞子どうしが絡まります。これは湿度が高い雨の日に、胞子がこぼれ落ちるのを防ぎ、晴れた日により遠くまで胞子を飛ばすための工夫です。



遊歩道の木にとまっていたモズのオス



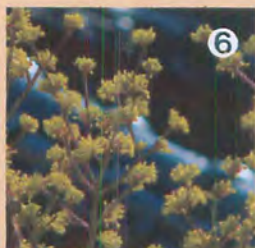
ムラサキサギゴケはオオイヌノフグリと同じ仲間 (ゴマノハグサ科)



オオカマキリの卵のう



もうすぐ開花しそうなミツマタの花芽 (ジンチョウゲ科)



黄色がよく目立つサンシュユの花 (ミズキ科)

## 繁殖羽のカムリカイツブリ



冬羽



夏羽

(撮影：川上貢さん)

カムリカイツブリは手賀沼では冬鳥として11月～4月頃まで見られ、月に一度の手賀沼水鳥調査では、昨年11月は62羽、今年3月は26羽観察されています。

暖かくなると右の写真のような夏羽に換羽した個体も見られるようになります。

カムリカイツブリは近年、手賀沼も含め、全国的に個体数が増加している水鳥です。



カムリカイツブリの分布図